

第2回 北九州市自転車活用推進計画検討会 議事要旨

日 時 : 令和8年7月17日(金) 14:00～16:00

場 所 : 北九州市役所 12階 121会議室

出席者 :

【構成員】 (五十音順、敬称略)

	氏 名	所 属
1	内田 晃	北九州市立大学 教授
2	河邊 政恵	株式会社リバー不動産 代表取締役社長
3	寺町 賢一	九州工業大学大学院 教授
4	濱田 千夏	NPO 法人 I-D0 理事
5	藤重 めぐ美	北九州市 PTA 協議会 副会長
6	藤本 幸彦	サイクリングチーム Blue Grass

【オブザーバー】 (五十音順、敬称略)

	氏 名	所 属
7	川元 真介	福岡県警察本部交通企画課 課長補佐
8	友成 啓太	福岡県警察本部交通規制課 課長補佐

欠席者 :

【構成員】 (敬称略)

	氏 名	所 属
9	山野内 聡香	北九州市立大学 学生(公募構成員)

議 事 : 1. 開会
2. 北九州市自転車活用推進計画見直し素案について
3. 意見交換
4. 閉会

議事内容 : ◎北九州市自転車活用推進計画検討会(見直し素案)について事務局より説明。
◎北九州市自転車活用推進計画の「施策の見直しについて」、「指標の見直しについて」の2項目についての意見交換。
◎検討会のスケジュールについて事務局より説明。

検討会の主な意見

【自転車通行空間について】

構成員

・自転車の通行が多くても抜け道を選定して整備することがないように配慮してもらいたい。プローブデータと併せて、交通事故箇所データのデータも重ねてみて複合的な目線で整備箇所の選定をする方がよい。

構成員

・自動車は自転車を追い越すとき1m側方の距離を取らないといけいないから、自転車を追い越せずに後ろが渋滞することがある。目標距離ありきではなく、安全との兼ね合いで整備すべきである。

構成員

・交通量も通行量も多い中、ヘルメットを着けずに親が子供を自転車に乗せてスピードを出して走っている。子供が乗っていれば歩道を走ってよいなど配慮出来たらいいのと思う。

構成員

・多少遠回りでも自転車通行帯の整備されている路線を意識的に選んで走行している。一方、自転車走行の支障となる歩道上の電柱など構造的な障害物の解消も併せて進めてほしい。

【駐輪施設について】

構成員

・主要駅周辺の整備は進んでいるが、郊外は駐輪スペースが不足しており不便とを感じる場面がある。駅以外の目的地や郊外エリアにおける駐輪環境の充実が必要。

【シェアサイクル事業について】

構成員

・ミクチャリは、スマートフォンでないと使えないので、例えば交通系ICカードでもできるようにすると、利用者は格段に増えると思う。

構成員

・大学にステーションが設置されていたが使われていなかったように感じた。金銭的な負担がネックになっているのが要因だと思うので、学生でも使いやすい料金設定や広報のあり方の検討が必要だと思う。

【自転車利用促進に関する情報発信について】

構成員

- ・スマートサイクルライフ北九州の情報が古く、更新されていないというふうに感じられる。
- ・入門する人からレースやる人まで全部カバーすることはないと思うので、記載する情報を取捨選択したほうが良いと思う。
- ・KPI として発信情報の件数や、フェイスブックやXのフォロワーの数とかにするのはどうか。
- ・発信したらフェイスブックやXで、情報発信しましたと通知するようにしたらどうか。

構成員

- ・駐輪場が新しくなって（自動入出庫ゲート及びマルチ決済の導入）、利用方法が変わったと思うので、それを例えばYouTubeで発信して、初めての方も利用しやすいような情報発信するとか、もうちょっと市民寄りの話を発信するのがいいのかなと思う。

【市民の交通安全意識向上について】

構成員

- ・自転車を車道に走らせるということは、自転車は車の1つだという意識からそうになっていると思うが、車道を自転車に走ってもらうのであれば、ヘルメットを被ることが優先だと思う。

構成員

- ・高校生が歩道を自転車で走っていて、歩行者をよけるために車道に飛び出てくるのが怖い。モラルをもっと徹底して学生に教えることが大事。

構成員

- ・青切符は周囲でも話題となっており関心度は高い。しかし実態は、逆走、速度超過、イヤホン着用などルール違反が依然目立つ。ヘルメットの着用率も低く感じられるので更なる意識啓発が必要。

【自転車盗難の防止について】

構成員

- ・2重ロックを徹底していない人が多く、盗難被害に遭ったという話をよく耳にする。外出先だけでなく、自宅における防犯意識の向上も課題。

— 以上 —